
「文京区子ども読書活動推進計画」進捗状況

令和3年度実績 調査結果

令和4年10月

文京区教育委員会

目標及び事業一覧

目標1 発達に応じた読書機会の提供	
1	ブックスタート事業の充実
2	ブックスタートのフォローアップ事業の充実
3	おはなし会や読み聞かせ等本に触れる機会の提供
4	発達段階にあった図書館行事の充実
5	子育て支援施設における読書活動の充実
6	ブックリスト（推薦図書）の作成
7	YA（ヤングアダルト）を対象としたサービスの充実
目標2 家庭・地域・学校・関係機関における子どもの読書環境の整備と読書活動の充実	
8	図書館と学校や施設との連携・支援体制の充実
9	幼稚園・保育園・児童館等の図書と設備の充実
10	乳幼児とその保護者が図書館を利用しやすい環境作り
11	特別な支援を必要とする子どものためのサービス及び資料の充実
12	特別支援学級等配慮が必要な児童・生徒の読書活動の推進
13	外国語図書の整備・充実
14	電子書籍の活用
15	入院中の子どもへのサービスの充実
16	学校における読書時間の確保
17	読書指導計画の策定
18	学校における読書活動の推進
19	調べ学習への支援
20	学校図書館への人的支援による機能の充実
21	学校図書館の活用と資料の充実
22	高等学校図書館との連携・支援体制の構築
目標3 子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発	
23	保護者等への啓発
24	子どもへの啓発
25	プレママ・プレパパへの啓発
26	文京区の子ども読書活動に関する情報窓口（ホームページ）の充実
27	子どもの居場所としての図書館の利用推進
28	子ども向けホームページの充実
29	「文京区子ども読書活動推進計画」実施のための進行管理
目標4 地域団体等との協働による子どもの読書活動の活性化	
30	職員・教員の研修の充実
31	図書館職員の研修の充実
32	区内の大学等との連携の推進
33	区内にある児童図書出版社や書店との連携の推進
34	区関係機関との協力・連携体制の推進
35	図書館ボランティア（ライブラリーパートナー）の育成と連携
36	学校図書館のボランティアへの支援
37	地域社会における読書活動を推進する団体等との連携の推進

目標1 発達に応じた読書機会の提供

乳幼児期からの読書習慣の確立のため、図書館をはじめ、家庭や幼稚園、保育園、児童館などにおいて、発達段階に応じて子どもが本に出会い親しむ機会がもてるよう取組み、さらなる充実を図ります。

事業名	ブックスタート事業の充実	所管課	真砂中央図書館 保健サービスセンター
内容	保健サービスセンターで実施される4か月児健診時に、絵本の読み聞かせを行い、絵本や図書館の紹介が入ったブックスタートパックを手渡し、親子のふれあいを通じた本との出会いのきっかけ作りとする。		
現況	配付人数2,010人：対象者の95.5%（令和元年度）		
目標	4か月児健診参加者全員への配付を継続するとともに内容の充実を図る。		
● 進捗状況（令和3年度の実績等）			
1 実績	○ 保健サービスセンターとの連携により図書館の紹介を行い、ブックスタートパックを配付した。 ○ 対象者 1,926人 健診参加者 1,784人、図書館配付 23人 計1,807人(対象者配付率 93.8%)		
成果と課題	○ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、健診会場での読み聞かせは行えなかったが、ブックスタートパックを手渡す際には、絵本をとおして楽しい時間を過ごしてほしいことを保護者に伝えた。また、健診に参加した全ての対象者へブックスタートパックを配付することは出来ているが、健診に参加していない対象者への配付や周知が課題である。		
今後の取組	○ 引き続き、ブックスタートパック配付の際は、事業の趣旨や赤ちゃんとの絵本の楽しみ方を解説したリーフレットを渡すとともに、親子のふれあいのツールとして絵本や図書館を活用してもらうことを伝える。 ○ また、健診に不参加の方にも周知できるよう、4か月児健診のお知らせにブックスタートの案内を同封することを検討する。		

事業名	ブックスタートのフォローアップ事業の充実	所管課	真砂中央図書館
内容	ブックスタートから継続して読書活動が行われるように、読み聞かせを行い図書館バッグと絵本を配付する「としょかんとなかよし」を月2回実施する。		
現況	1歳6か月児を対象 配付数674袋：対象者の33%（令和元年度）		
目標	SNSを活用した広報活動に努めるとともに内容の充実を図る。		
● 進捗状況（令和3年度の実績等）			
2 実績	○ 新型コロナウイルスの影響で読み聞かせイベント「としょかんとなかよし」を行えない期間もあったが、子育て応援メールマガジンの追加配信や案内状のデザインのリニューアル等でPRを強化し、図書館バッグと絵本を配付した。対象者の来館は増加した。 ○ 子育て応援メールマガジンの追加配信による広報を行った。(2回) ○ 対象者1,878人 配付数 1,120袋（対象者の59.6%）		
成果と課題	○ 1歳6か月児健診の受診票に同封する「としょかんとなかよし」の案内状のデザインを大幅に改善するとともに、館内ポスターでの周知や、メールマガジンでの追加配信など、広報活動の充実を図った。これにより、来館する対象者が増え、配付数が増加した。 ○ また、イベントを予約制にしたことにより運営がスムーズにできたが、コロナの影響もあってか、イベントに参加せず、図書館バッグと絵本を受け取るだけの人も多かった。今後はイベントの参加と利用者登録の増加を図ることが課題である。		
今後の取組	○ 図書館バッグと絵本を受け取りに来た人に対し、イベントへの参加を積極的に促すとともに、図書館利用及び登録につながる丁寧な説明を行う。また、ポスター等の周知方法についても参加者増につながる内容に見直し、引き続きメールマガジンによる広報活動にも努める。		

事業名	おはなし会や読み聞かせ等本に触れる機会の提供	所管課	幼稚園・保育園・児童館
内容	日々の活動の中におはなし会や絵本・紙芝居の読み聞かせを積極的に取り入れ、子どもの想像力や豊かな心を育てる。		
現況	各施設で読み聞かせやおはなし会を実施し、絵本コーナー等も設置している。		
目標	図書館との連携を図り、子どもたちの身近な場所に本を置き、読み聞かせ等を行うことで本に触れる機会を増やす。		

● 進捗状況（令和3年度の取組等）	
3	<p>実績</p> <p>【幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読み聞かせの実施 全園 ○ 絵本コーナーの設置 全園 ○ 絵本の貸出 3園 ○ 保護者ボランティアや中学生による絵本読み聞かせ 5園 ○ 図書館員や外部講師によるお話し会 7園 <p>【保育園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読み聞かせの実施 全園 ○ 玄関やホール等への絵本コーナーの設置もしくはその充実 全園 <p>【児童館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読み聞かせ 全館 ○ ストーリーテリング(お話し会) 1館/16館
	<p>成果と課題</p> <p>【幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日常的な読み聞かせや絵本コーナーの設置は全園で行っている。保護者等による読み聞かせは感染対策のために行えない園もあった。 <p>【保育園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日常的な読み聞かせや絵本コーナーの設置は全園で行っている。 <p>【児童館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読み聞かせは全館で行った。
	<p>今後の取組</p> <p>【幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、絵本コーナーの充実と読み聞かせを行っていく。感染状況に応じて貸出の再開検討や保護者等による読み聞かせも行っていく。 <p>【保育園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、子ども達の興味に合った絵本や紙芝居の選定を行い、絵本コーナーの環境を整え、落ち着いた環境で絵本を楽しめるようにしていく。また、必要に応じて絵本の修理や点検を行う。 <p>【児童館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ストーリーテリング(お話し会) の実施を促し、絵本や紙芝居に限らず様々なジャンルの本に触れる機会を増やしていく。

事業名	発達段階にあった図書館行事の充実	所管課	真砂中央図書館
内容	乳幼児からYA世代まで発達段階にあった行事を充実させ、子どもが本に親しむ機会を提供する。		
現況	乳幼児向け読み聞かせの会や、小学生向けおはなし会、YA向け読書会等を実施している。 乳幼児向け 実績：212回、小学生・YA向け 実績：389回		
目標	図書館員のスキルアップによる内容の充実を図り、新規参加者が増加する取組を実施する。		
● 進捗状況（令和3年度の取組等）			
4	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 乳幼児向け行事（86回 722人参加） ○ おはなし会等、幼児小学生向け行事（142回 1,184人参加） ○ 各館で子ども会や子ども映画会、子ども落語会、工作会等の行事を、実施した。 ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止期間あり。 		
	<p>成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事を一時中止したことによる実績減となったが、再開に当たり、館内ポスターやホームページで周知し、感染症対策を講じて実施、継続することで参加者数も徐々に安定してきた。 ○ また、職員が研修に参加し、新しい演目にも取り組む等スキルアップを図り、内容の充実にも努めたことに加え、行事実施日を来館者の多い週末に変更し、新規参加者の増加を図った。 ○ 幅広い年齢層が一同に楽しめる行事と、各世代に合った行事をバランスよく、実施していくことが課題である。 		
	<p>今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、職員が研修等に参加しスキルアップを図りながら、おはなし会等での新たな演目に取り組むとともに、読み聞かせやおはなし会でブックトークを取り入れるなど貸出に結び付ける工夫をする。 ○ 定例行事は乳幼児から小学生低学年が楽しめるものが主となるため、それ以外の世代、特に小学生中学年からYA世代に向けた行事の充実化に向け、内容や参加しやすい曜日、時間帯等を検討する。 		

事業名	子育て支援施設における読書活動の充実	所管課	子育て支援課 子ども家庭支援センター
内容	「ぴよぴよひろば」や「子育て広場」等子育てを支援する施設で、絵本コーナーの設置や読み聞かせ等を実施する。		

5	現況	子育て講座等で絵本を活用している。
	目標	団体貸出や読み聞かせ等、図書館との連携を図る。親子で読書に親しむ機会を増やすため、本を手にとりやすい環境を作り、読み聞かせ等を引続き充実させる。
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）	
	実績	<p>【子育て支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子育てひろば汐見 絵本購入32冊、本の貸し出しを実施 ○ 子育てひろば及び地域子育て支援拠点で、絵本の読み聞かせ・おはなし会を随時実施 <p>【子ども家庭支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ びよびよろばで、絵本の読み聞かせ、紙芝居等を随時実施 ○ 本の貸し出しを実施 ○ 絵本・大型絵本の購入 51冊 <p>※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、子育て講座は中止した。</p>
成果と課題	<p>【子育て支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どの施設も絵本を計画的に購入し、絵本コーナーを設置し利用者に読書に親しむ機会を提供している。 ○ 昨年度は新型コロナウイルス感染症流行のため、おはなし会等を実施できない施設があったが、今後は感染症対策を講じながら実施していく。 <p>【子ども家庭支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読み聞かせが乳幼児の情緒発達に働きかけることを保護者が実感する機会を提供できた。 ○ 乳児の利用が多いため、大型絵本、仕掛け絵本など、絵本の選択に一層の工夫が必要である。 	
今後の取組	<p>【子育て支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、計画的に絵本の購入や読み聞かせ等を実施し、子育てひろばや子育て支援拠点を利用する親子に読書に親しむ場を提供し本を手にとりやすい環境を作っていく。 <p>【子ども家庭支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ひろば職員による子育て講座を年間行事に組み込み、絵本の読み聞かせ等を実施する。 	

6	事業名	ブックリスト（推薦図書）の作成	所管課	真砂中央図書館
	内容	乳幼児からYA世代まで発達段階に合った多様なブックリストの作成・配付を行い、読書のきっかけを作る。		
	現況	乳幼児向けに「えほんがすき」、小学生に「読んでみましょう」、中学生に「yomitan」等、発達段階にあったブックリストの作成・配付を行っている。		
	目標	年代に合わせた推薦図書の紹介等、引続き内容の充実を図り、周知を行う。		
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）			
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 区立図書館として、乳幼児向けに「えほんがすき」、小学生に「読んでみましょう」「よんでみましょう2021」、中学生に「yomitan」、新中学生向けの「ぶんきょう来ぶらり〜」と、発達段階にあったブックリストを作成し、配付した。 ○ ホームページにすべてのブックリストを掲載している。 ○ 調べ学習用の本のリストを作成した。（小石川） ○ 館広報の中でおすすめ本の紹介をした。（真砂中央、目白台、根津） 		
	成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ ブックリストの配付に合わせ、館内に特集コーナーを設けたことにより、図書の貸出につながった。また、調べ学習用のリストを作成し、これを使用して館内で図書館員が学習支援を行った。 ○ ブックリストの作成においては、レファレンスやフロアワークの中で聞き取った保護者や子どもたちからの相談や期待に応える充実した内容となるよう工夫するとともに、子どもたちの興味・関心を引き出せる本選びの一助となるよう、様々な分野の本をバランスよく選定することが課題となる。 		
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ ブックリストの作成にあたっては、利用者の読書のきっかけとなるよう幅広い分野の本をバランスよく選定するとともに、館内でのリストを活用した特集展示を継続して行う。 			

	事業名	YA（ヤングアダルト）を対象としたサービスの充実	所管課	真砂中央図書館
	内容	図書館ホームページの「10代のためのYAページ」の充実とともに、YAコーナーや専用席を設け、資料収集や展示を工夫して読書環境を整え、YA世代の利用促進を図る。		
	現況	YA世代（13～18歳）の貸出数 82,741冊（令和元年度）		

目 標	SNSを活用したPRや魅力的で使いやすいYAコーナーの展開を通して、YA世代の読書への意欲を高める。同世代のお勧め本の展示やサイン等の工夫を行うため、学生ボランティアとの協働を目指す。
● 進捗状況（令和3年度の取組等）	
7 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ○ YA世代(13～18歳)の貸出数 91,444冊 ○ YAルームに、自由に絵や文章を書けるコミュニケーションノート(真砂中央、本郷)と、希望の資料を無記名投函できる自由意見箱を設置している。(真砂中央) ○ 中学生対象のブックリストyomitanを作成し区内中学校に配布し、各図書館でもYAコーナー内にyomitanコーナーを設けている。 ○ 新刊コーナー、ブックリストコーナー、特集展示など、目を引くようなデザインや表示を取り入れる工夫をした。 ○ 新たに始めた電子書籍サービスについて、YAコーナーにポスターを掲示し、図書館ホームページの「10代のためのYAページ」でもPRをした。 ○ 区内中学校からの依頼に応じて、調べ学習や文学研究の資料を提供した。 ○ 中学生が作成した本のPOPを紹介した。 ○ 文京区青少年プラザ(b-ラボ)と中高生対象の連携行事を行った。(真砂中央) ○ 中学生の職場体験の受入れをした。(真砂中央:1人) ○ 独協中学校との連携により、互いのおすすめ図書の特集コーナーを設置する図書館コラボ企画を実施した。(目白台)
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ YAコーナーやYA専用席の整備、展示特集、掲示物を工夫することなどによりYA世代の読書環境を整えた。これにより、YA世代に差し掛かる小学校高学年とその保護者にもYAコーナーが認知されてきた。 ○ 図書館ホームページの「10代のためのYAページ」で、各図書館の定期的な展示特集を紹介し、貸出に繋がったが、SNSの効果的な発信方法まで検討できず、活用にはいたらなかった。 ○ 貸出数は増えているが、年代別貸出数の中ではYA世代が突出して低い。 ○ また、学生ボランティアの登録はあるが、YA行事に関して学生ボランティアの活用が充分ではない。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ YA世代の利用促進を図るため、職場体験・YAイベント等で交流した中高生の意見のほかSNSなど多方面から情報を得て、YA世代の興味関心の動向を探り、YA世代のニーズを反映した読書環境を整える。また、選書や行事なども魅力ある内容となるよう検討する。 ○ また、近隣学校と連携を図り、図書館サービスを周知する。さらに、YA世代に近い大学生の登録ボランティアとYAの課題について共有し、今後の活動について検討する。

目標2

家庭・地域・学校・関係機関における子どもの読書環境の整備と読書活動の充実

子どもが多く時間を過ごす学校や図書館等における、読書環境の整備と読書活動の更なる充実を図るため、各施設で計画的な環境整備に取り組めます。また、読書バリアフリー法への対応等、支援を必要とする子どもたちに対し、資料の充実などを進めるとともに、学校図書館については、図書館との連携を図りつつ、「読書センター」「学習・情報センター」としての機能の向上を図ります。

事業名	図書館と学校や施設との連携・支援体制の充実	所管課	真砂中央図書館 児童青少年課・幼稚園・小・中学校・
内容	区内の子どもと関わりのある各施設と連携して、ブックリストの配付、団体貸出、出張おはなし会、リサイクル図書の提供や情報交換等を行い読書活動を支援する。		
現況	各施設が団体貸出や行事等で図書館を利用している。		
目標	内容の充実を図ることで施設や学校図書館との連携を強化し、新規連携先が増加するように団体貸出等の周知を図る。		
● 進捗状況（令和3年度の取組等）			
実績	<p>【真砂中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 区内の幼稚園・保育園・認証保育所の新入園児にブックリストと図書館利用案内を配付した。 ○ 中学新生に図書館案内「ぶんぎょう来ぶらりー」を作成し、配付した。 ○ 区立中学生にブックリスト「yomitan」を作成し、配付した。 ○ 小学生にブックリスト「よんでみましょう2021」を作成し、配付した。 ○ 小学生の図書館見学を実施した。（真砂、千石） ○ 幼稚園・保育園・小中学校・児童館等に団体貸出や出張おはなし会などを実施した。 ○ 幼稚園・保育園・小中学校・児童館等に、リサイクル図書を提供した。 ○ 小学校図書担当教諭との連絡会を開催し、情報交換を行った。 <p>※ 新型コロナウイルスのため例年より行事实施回数は減少した。（出張おはなし会は11月～12月のみ）</p> <p>【幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公共図書館からの出張お話し会 6園 ○ 図書館行事への参加 1園 ○ 団体貸出の利用 5園 ○ 図書館のパンフレット・チラシ等の掲出・配布 全園 <p>【保育園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 団体貸し出しの利用 9園 ○ 図書館のパンフレット・チラシ等の掲出・配布 16園 <p>【児童館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 団体貸出の利用 12館/16館 ○ 図書館職員による本の紹介や読み聞かせ 3館/16館 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 団体貸出の利用 全校 ○ 図書館見学 8校 ○ 公共図書館からのお話し会やブックトークの実施 2校 ○ 図書館のパンフレット・チラシ等の掲出・配布 18校 ○ 公共図書館よりリサイクル図書の提供を受けた。1校 ○ 2年生生活科で図書館について調べる活動にご協力いただいた 1校 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 団体貸出の利用 5校 ○ 職場体験 2校 ○ 公共図書館からのブックトーク等の行事 1校 ○ 図書館のパンフレット・チラシ等の掲出・配布 8校 		

成果と課題	<p>【真砂中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各施設の協力のもと、施設利用者への図書館利用案内やブックリストの配付等を行い、図書館サービスが周知され、新規の団体登録や行事の問合せが増えた。また、団体貸出により、各施設内での読書活動を支援することができた。 ○ なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により、来館や出張でのおはなし会は再開・中止が繰り返されたが、図書館見学は感染状況を見ながら休館日に少人数での来館とするなど、工夫して実施した。一方、出張おはなし会などの利用を控える施設もまだあった。 ○ 幼稚園・保育園の団体貸出が増えたことにより、幼児向け絵本の需要が高まった。(本駒込) ○ 新規児童団体登録者数:17団体 ○ 団体貸出数 幼稚園・保育園・児童館等:26,314冊、小学校:35,106冊、中学校・高等学校等:1,162冊 <p>【幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館の毎月の配布物の掲示、団体貸出の利用、出張お話会や図書館訪問など、図書館を利用した読書活動ができています。 <p>【保育園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍のため、集団での図書館利用は難しかったが、園によっては団体貸し出しで図書館の絵本に触れる機会が持てた。 <p>【児童館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 団体貸出は7割以上の児童館で実施した。 ○ 出張おはなし会の実施館数を増やす。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルスの拡大の影響により、おはなし会などの読み聞かせイベント、図書館見学を実施することが出来なかったが、学校図書館だけでは賄えないような本や冊数は、公共図書館からの団体貸出を行うことができた。 ○ また、団体貸出の利用と併用してICT機器で調べること増えている。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 団体貸出や区立図書館のパンフレットの配布等を通じて、区立図書館との連携をとることができた。新型コロナウイルス感染症のため職場体験はほとんどの学校で中止となった。調べ学習で団体貸出を利用しても、校内だけでの利用のため、誤って生徒が持ち帰ってしまった本の回収に苦慮したり、調べたいと思うテーマに沿った本が十分なかったりなどが課題である。
今後の取組	<p>【真砂中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引続き、希望に沿った内容の団体貸出を迅速に行うとともに、満足度の高い行事を実施する。また、区内施設へ偏りなく読書支援を行うため、新規登録施設や利用の少ない施設に対して行事のお知らせや案内を積極的に行っていく。 <p>【幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、これまでのような図書館の活用を継続するとともに、感染予防で控えていた図書館訪問の計画も検討していく。 <p>【保育園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コロナの感染状況を見ながら、可能な範囲で図書館での団体貸し出しや図書館の行事に参加していく。 <p>【児童館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館や学校との連携を強化し、内容の充実を図る。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、団体貸出を活用し、感染拡大状況を様子見しながらできることを増やし、図書館見学を実施する。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、区立図書館の案内を掲示し、団体貸出の利用を行っていく。また、職場体験も再開されれば実施していく。

事業名	幼稚園・保育園・児童館等の図書と設備の充実	所管課	幼稚園・保育園・児童館
内容	発達段階に合わせ、子どもが興味や関心を持った本、子どもに薦めたい本を充実させる。子どもが自由に本を選べるよう親しみやすい環境を整備する。		
現況	絵本を中心に所蔵し、季節や行事に合わせた展示コーナーを設けている。		
目標	団体貸出等を用いて公共図書館と連携を図り、図書の充実と環境の整備をすすめる。		
● 進捗状況（令和3年度の取組等）			

9	実績	<p>【幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵本、図鑑、紙芝居等の購入 6園 ○ 絵本リストの作成 6園 ○ 絵本コーナーの図書整理と定期的な入れ替え 6園 <p>【保育園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全園で絵本・紙芝居・図鑑を購入した。 ○ 定期的に各クラス内の絵本コーナーの中を整理し、入替えを行った。 <p>【児童館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全館で図書を1,670冊購入 ○ 絵本の外、紙芝居、図鑑、コミックの購入もある。
	成果と課題	<p>【幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい絵本・図鑑の購入や古い本の買い替えを行い、季節や行事、幼児の遊びの様子に応じて関心・興味が高いものを絵本コーナーで定期的に入替した。 <p>【保育園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各年齢や季節、興味が持てる絵本を用意し、クラスの絵本コーナー、共通の図鑑コーナーを整理し気持ちよく楽しめるようにした。 <p>【児童館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 季節や行事に合わせた展示コーナーを設けた ○ 子どもの成長段階に合わせた本や子どもが興味・関心を持つ本をさらに所蔵する
	今後の取組	<p>【幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、本の購入や買い替えによる整備を行う。区立図書館と連携し、団体貸出を利用して、一層の図書の充実を図る。図書館職員に聞いたり、団体貸出を参考にしたり、良書・絵本を学ぶ。 <p>【保育園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども達の興味に合わせて購入手続きを進め、読みたい絵本や図鑑が主体的な遊びに繋がるように絵本環境を整えていく。 <p>【児童館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、図書の充実と環境の整備を図る。

10	事業名	乳幼児とその保護者が図書館を利用しやすい環境作り	所管課	真砂中央図書館	
	内容	乳幼児向け絵本や育児に関する図書を充実させ、親子で楽しく安心して利用できる環境を整備する。			
	現況	0歳～6歳児の貸出数 214,112冊（令和元年度）			
	目標	子どもたちの興味や関心に応えるため慎重に資料を選定し、必要に応じて複本を揃え、提供する。気兼ねなく図書館を利用できるよう乳幼児の保護者に周知するとともに、一般の利用者への啓発を行う。図書館の改修等を実施する際には、児童コーナーの整備の検討を行う。			
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）				
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 0歳～6歳児の貸出数 316,530冊（令和3年度） ○ 乳幼児向け福袋(1袋に複数冊セット)の利用 1,990人（真砂中央、本駒込、湯島、根津、大塚） 			
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症対策として、新たに開始した福袋が、今では定着し、本選びの一助となっている。また、寝ころび台の近くに保護者向けの図書を置くなどの工夫を行ったことで、保護者も一緒に利用できるようになった。 ○ 乳幼児向けの絵本について、引き続き子どもたちの興味や関心に応える本を慎重に選定する必要がある。 ○ 子ども読書活動推進計画を作成した際の保護者アンケートによると、乳幼児の保護者では、図書館では静かにしなければならない、本を汚したり破いたりするかもしれない、といった不安や利用を躊躇するような意見がある。 				
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 親子で利用できる寝ころび台で、より楽しんですごせるよう、紙芝居舞台を常設し、紙芝居の購入数を増やすなど充実を図る。 ○ 乳幼児親子の図書館利用に対する不安を取り除く取り組みとして、安心して来館してもらうためのPRをメールマガジン等で行うとともに、来館した保護者には積極的な声掛けを行うとともに、周囲への理解を求めていく。 				

	事業名	特別な支援を必要とする子どものためのサービス及び資料の充実	所管課	真砂中央図書館
	内容	読書バリアフリー法を踏まえ、誰もが読書を楽しむことができるよう図書館サービスの拡充と資料の充実を図る。		
	現況	デージーや点字図書、布の絵本等を製作している。		

11	目 標	読書バリアフリー法に対応し、デジジー、点字図書、大活字本、布の絵本に加え、電子書籍、オーディオブック、LLブック等、多様な資料を収集し提供する。 対面朗読や読み聞かせ、行事などに取り組む。
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）	
	実 績	<ul style="list-style-type: none"> ○ LLブックや点字絵本などを購入した。（購入数 LLブック：28冊、点字絵本：3冊） ○ 布の絵本の写真付き目録を作成し、館内で閲覧できるようにしたことが増加した。 ○ 館内行事では、特別な支援を必要とする子どもに対し、座る場所や音量などを配慮して実施した。 ○ デジジー音訳図書と点字図書は、YA向けにも作成した。 ○ 教育センターふれあい教室へ隔月の団体貸出を行った。（真砂中央）
	成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者それぞれが使いやすい資料形態を選べるよう、デジジーや点字図書、布の絵本など、多様な資料を用意した。また、図書館利用や行事参加に不安を抱く方からは話を聞き、それぞれの方に合った支援をした。 ○ 特別支援学校・小中学校の特別支援学級への団体貸出を行った。（林町小・柳町小・都立文京盲学校） ○ 布のえほんの作り手の確保と育成が課題である。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、誰もが読書を楽しめる環境を維持できるよう、特別な支援を必要とする子どもや保護者、学校と情報交換をする。 ○ 特別支援学校・学級への団体貸出についての情報提供を行い、図書館資料の活用を促す。 ○ 特別な支援を必要とする子ども達への理解を深めるための研修等により職員等の資質向上を図る。 ○ 支援の必要な子ども達も楽しめるような行事を企画し、図書館の利用拡大に努める。 	

12	事業名	特別支援学級等配慮が必要な児童・生徒の読書活動の推進	所管課	教育指導課 小・中学校
	内 容	支援が必要な子ども一人ひとりに配慮した読書活動の工夫に努める。		
	現 況	児童生徒の障害特性を考慮した図書を選定し、読み聞かせやパネルシアター等読書の意欲の向上を図る工夫を行っている。		
	目 標	学校図書室と連携を図りながら、児童・生徒の障害の特性等を考慮しつつより充実を図る。 電子書籍やLLブック等アクセシブルな資料の収集を進める。		
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）			
実 績	<p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒の発達に応じた図書の選定、及び読み聞かせ等の実施により、読書意欲の向上を図っている。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の特性・生活経験、興味に応じた図書を選定し、読み聞かせや読書を進める。18校 ○ 特別支援学級の児童に配慮した本の整備 10校 ○ 支援学級と通常学級の児童合同で読書活動をした。7校 ○ 支援学級単独で図書館オリエンテーション 4校 ○ アクセシブルな資料の収集 4校 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援学級の生徒に配慮した本の整備 5校 ○ 支援学級と通常学級の生徒が合同で読書活動をした。2校 ○ 支援学級単独で図書館オリエンテーション 3校 			
成果と課題	<p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一人で読書に取り組むことが難しい児童にとって読み聞かせやパネルシアター等の活用は効果的である。 ○ 図書選定に係わる情報収集が難しい。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書館支援員と特別支援学級担任が連携して取り組むことができている。特別支援学級の単独利用や通常級との合同利用など、学校図書館の利用の仕方については学校によってまちまちだった。 ○ 特別支援学級はない学校についても、配慮が必要な児童や児童の実態に応じた選本や読み聞かせの実施で、本に親しむことができる工夫を行い、読書への意欲を高めている。一部、アクセシブルな資料や、支援学級に向けたコーナーなどの設置がない学校、特別支援学級がないため、特に配慮をしていない学校もある。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ふれあい活動の一環として、支援学級の生徒が交流学級に行き、朝読書を一緒に実施している。また、支援学級の生徒が休み時間や授業で図書室を利用している。生徒の実態に応じた本の整備を行い、学級にも本を配置して、読書の意欲を高めるようにした。特別支援学級の枠にとらわれず、合同の読書活動の時間や、単独でのオリエンテーションの時間をつくり、特性に配慮した読書の時間を設けることが課題である。 			

	今後の取組	<p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読書センターとしての学校図書館の蔵書の共有化の検討を行う。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の実態や特性を把握するために、特別支援学級の担当と連携を図り、考慮した様々な図書を充実させていくとともに、取り組みが見られないところは、個に応じた図書指導や学校図書館の活用、学習に取り入れかたなどを検討していく。児童の実態に応じた本の配置をして支援が必要な子どもの読書の向上を図る。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援学級単独でのオリエンテーションの実施や支援学級の生徒に配慮したアクセシブルな資料の収集を進め、支援学級の生徒がさらに図書室を活用できるようにしていく。特別支援学級はない学校についても、支援が必要な生徒が増えている中で対応を検討し、その生徒が図書室を利用する際は、読書に集中できるよう環境整備に気を配る。
--	-------	--

13	事業名	外国語図書の整備・充実	所管課	真砂中央図書館	
	内容	外国語図書を幅広く収集整理し、外国語を母語とする子どもや帰国児童・生徒など、必要とする子どもの読書活動を支援する。			
	現況	水道端図書館を中心に各館で外国語の絵本を所蔵している。			
	目標	英語以外の外国語図書の充実を図り、文化、生活がわかる本や児童文学等、広く収集する。行事等の取組みの充実を図る。			
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）				
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語絵本資料の整備、受入(約150冊) ○ 日本人英会話講師による英語の読み聞かせ行事「えいごでえほん」の実施(本駒込図書館) 			
	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的に外国語絵本の特集をYA、児童向けに行っている。英語を中心に中国語や韓国語など需要のある言語の絵本を購入した。経年劣化の進んだ外国語絵本の買い替えのほか、中高生向けの外国語図書及び、英語以外の文化や生活に関する本や児童文学等の充実が課題である。 ○ 外国語の絵本及び図書の整備については、英語及びその他の言語について、区の地域性等も踏まえ、整備内容を検討し、計画的に購入する。なお、購入にあたっては、幼児から中高生まで世代ごとにどのような需要があるかを踏まえて、検討していく。外国語図書を使ったイベントを行っていない館については、図書館における外国語の行事のあり方について検討していく。また、英語が学べる布の本も活用していく。 			

14	事業名	電子書籍の活用	所管課	真砂中央図書館	
	内容	電子書籍の特性を生かし、読書支援及び学習支援を実践する。			
	現況	児童書 141冊（令和3年度4月現在）			
	目標	選定基準に則って資料数を増やし、子どもたちの読書意欲を喚起する。電子書籍の活用方法について、周知する。			
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）				
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ R4年3月31日現在の児童電子書籍蔵書数 1,229冊 ○ R3年度児童電子書籍貸出数 6,859件 			
	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ タブレットが配付された区立小・中学校の児童・生徒に対しては、電子書籍のより効果的な周知方法を検討し、実行することにより更なる利用につなげる。また、より充実した電子書籍の選定を行う。 			

	事業名	入院中の子どもへのサービスの充実	所管課	真砂中央図書館
	内容	小児病棟等病院のニーズを汲み取り、病院と連携した図書館サービスを提供する。		
	現況	読み聞かせの実績があるが、感染症対策等病院側の都合により実施できないことがある。		
	目標	病院との連携を図り、団体貸出等を通して、入院中の子どもたちに読書の機会を提供する。		

15	● 進捗状況（令和3年度の取組等）	
	実績	○ 新型コロナウイルス感染症の拡大により医療現場が逼迫しており、病院と連携を取ることが難しい状況だった。
	成果と課題	○ 病院と連携したサービスを行うにあたり、病院側のニーズを把握する必要がある。
	今後の取組	○ 大学病院等の小児病棟を中心に図書館サービスを周知するため、入院病床のある医療機関向けに児童図書サービスリーフレットを作成し、配付の相談を行うとともに、図書館サービスの需要について調査し、連携につなげていく。

16	事業名	学校における読書時間の確保	所管課	教育指導課 小・中学校
	内容	学校活動における読書時間の確保に努める。		
	現況	小中学校で「朝読書」または「学習活動内での読書の時間」が実施されている。		
	目標	日常的に読書の時間を設けることにより、読書習慣を身に付ける。 学級文庫の設置により、本に触れる機会を増やす取組を進める。		
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）			
	実績	<p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小中学校で読書に取り組む時間を確保している。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 朝読書の実施 15校 ○ 朝読書以外の時間の確保 18校 ○ 図書室の利用を固定枠で確保 16校 ○ 保護者ボランティアによる読み聞かせ 10校 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 朝読書の実施 全校 ○ 朝読書以外の時間の確保 3校 ○ 図書室の利用を固定枠で確保 2校 		
	成果と課題	<p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読書時間確保の定着が見られる。 ○ 年間計画等に位置付けた、意図的・計画的な読書活動の推進。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ほとんどの小学校で朝読書や休み時間を活用した、読書の時間を確保している。 ただし、新型コロナウイルスの影響で、ボランティアとの連携は出来ないところが多かった。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 朝読書の時間を確保することで、読書習慣を身に付けることはもちろん、落ち着いた状況で授業に入ることが出来ている。それ以外の時間を確保していくことが課題である。 		
今後の取組	<p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書室環境の充実や学級文庫の設置により、児童・生徒が日常的に図書に触れられる環境作りについて検討を行う。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、読書時間の確保に努め、感染状況を見ながら、ボランティアによる読み聞かせを実施する。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、朝読書について取り組んでいく。朝読書以外の時間の確保ができるようにする。各教科の学習活動で図書を利用できるようにする。また、昼休みの図書室利用の促進と、学級文庫のない学校は導入を検討する。 			

17	事業名	読書指導計画の策定	所管課	小・中学校
	内容	毎年度、読書指導の目標を設定し、年度計画に基づく読書活動の推進を行う。		
	現況	読書指導計画(読書活動年間指導計画)等策定 小学校12校、中学校4校(令和元年度)		
	目標	全校で策定されるよう、引続き推進に努める。		
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）			
	実績	<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読書指導計画(読書活動年間指導計画)等の策定 10校 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読書指導計画(読書活動年間指導計画)等の策定 6校 		

成果と課題	<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 半数の学校で策定しているが、計画に沿った読書指導を行った学校と行えなかった学校があった。 ○ また、策定することを知らなかった学校もあった。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 策定している学校は半数で、理由としては策定に要する時間確保が難しい。ただし、読書指導計画はないが、国語科や総合・特別活動などで計画的に図書館の本で調査などを行うことができている学校もある。一方で、計画はあるが教科や学年の授業においてあまり活用されていない学校もある。
今後の取組	<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 計画の見直し、策定の検討、準備を進める。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、計画に沿って読書活動を推進していくとともに、未策定の学校についても、読書の年間指導計画を作成し、計画的に読書推進を進めていく。

事業名	学校における読書活動の推進	所管課	教育指導課 小・中学校
内容	読書推進期間の設定や、ブックリストの作成、学校図書館・図書館の利用促進等、多様な読書活動を推進する。		
現況	各学校で、本の紹介の工夫、推薦図書を選定、読書量の設定、図書館の利用指導等特色のある読書活動を実施している。		
目標	教職員、学校図書館支援員の協働により、授業や学校図書室にて児童・生徒が読書を楽しめるよう充実を図る。 読書バリアフリー法に対応するため、アクセシブルな資料の導入や読書補助具等の整備を行う。		
● 進捗状況（令和3年度の取組等）			
18 実績	<p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各校で、読書推進月間の設定やおすすめの本の紹介コーナーの設置など、図書室利用の促進を図っている。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多読者等の表彰 8校 ○ 目標読書量の設定 8校 ○ おすすめ本の紹介、おすすめコーナー等の設置 全校 ○ ブックリストの作成 15校 ○ 支援員等によるブックトーク、読み聞かせ等 19校 ○ 学校図書館の利用指導 18校 ○ 近隣図書館の利用案内等の掲示や配布 14校 ○ 図書だよりの発行 18校 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読書推進期間等の設定 7校 ○ 多読者等の表彰 7校 ○ 目標読書量の設定 5校 ○ テーマコーナー等の設置 9校 ○ 生徒・教職員による推薦図書の紹介、購入 全校 ○ 支援員等によるブックトーク等 7校 ○ 学校図書館の利用指導 全校 ○ 近隣図書館の利用案内等の掲示や配布 全校 ○ 新着図書紹介 全校 ○ 図書だよりの発行 全校 		
成果と課題	<p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症対策を講じた上で、本の貸し出しや図書室利用促進に努めている。 ○ 学校によって、学級数の増加に伴い、図書室の縮小がある。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれの学校で様々な取り組みを行っている一方で、読書を進んで行う児童とあまり読書をしない児童の差がある。また高学年になるとなかなか読書ができない現状であるため目標読書量の設定が難しい。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校における読書活動の推進については、全ての中学校で様々な形で行うことができている。ただし、新型コロナウイルス感染症対策により、学校によっては図書室内の机・椅子を使わせておらず、昼休みや放課後の読書スペースを確保できていない、図書館のレイアウトによって1クラス一斉に利用しにくいなどの課題もあった。 		

今後の取組	<p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 言語能力や情報活用能力等の育成に向けた、カリキュラム・マネジメントの推進に向けて検討を行う。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、イベント等の工夫をしながら様々な読書活動の推進を図り、読書推進期間のない学校については、その設定を検討する。教員と支援員の連携だけでなく図書委員も活用し、よりよい図書室の在り方を考えていく <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、新着図書や推薦図書の紹介や展示・掲示等で積極的に情報を発信して、読書活動を推進していく。 ○ また、図書委員のアイデア活用や、支援員によるブックトーク実施など、協働による読書活動をさらに進めていく。
-------	---

19	事業名 調べ学習への支援	所管課	真砂中央図書館 小・中学校
内容	学校図書館や図書館の活用を促進し、児童・生徒の調べ学習への支援をする。		
現況	「文京区調べる学習コンクール」を開催しており、調べ学習のために学校図書館が利用されている。調べ学習用図書を購入し団体貸出をしている。		
目標	図書館と学校図書館が連携しながら調べ学習用の図書等を充実させる。 学校図書館支援員が積極的な支援を行う。		
● 進捗状況（令和3年度の取組等）			
実績	<p>【真砂中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小中学校用テーマ別調べ学習用図書購入 計237冊 ○ 「文京区調べる学習コンクール」を開催した。(応募総数2,810点) ○ レファレンスによる、児童・生徒の調べ学習を支援した。 ○ 指導要領に対応し、教科書の内容に沿った調べ学習図書を収集し、提供した。 ○ 図書館資料の小・中学校への団体貸出をした。 ○ 館内に調べ学習支援コーナーを常設し、図書館資料を使った調べ方などの情報を提供した。(小石川) ○ 夏休みは、自由研究・工作や読書感想文の貸出が増えるため、特集展示やワークシートなどを配付した。 ○ 図書館から派遣している学校支援員が、教員の要望に応じた調べ学習図書の提供を行った。 ○ 調べる学習コンクールの出品にあたり、学校図書館支援員が学校図書館において児童・生徒の調べ学習を支援した。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べ学習での学校図書館利用 全校 ○ 区立図書館の団体貸出を利用した調べ学習 18校 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べ学習での学校図書館利用 8校 ○ 区立図書館の団体貸出を利用した調べ学習 3校 		
成果と課題	<p>【真砂中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「文京区調べる学習コンクール」を開催し、過去の入選作品の展示や講座の開催、レファレンスによって児童・生徒の調べ学習を支援したことにより、応募点数が大幅に増加した。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タブレットと併用し、学校図書館や区立図書館の団体貸出を調べ学習に活用している。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タブレットと図書室や区立図書館からの団体貸出を併用した調べ学習を行っている。ただし、区立図書館からの団体貸出の活用校は少なく、図書室の活用からタブレット中心の調べ学習になっている学校もある。 		
今後の取組	<p>【真砂中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童・生徒の調べ学習の環境がより充実するよう、引き続き、学校図書館と図書館が、調べ学習用図書の選定や特集展示において連携する。また、学校の協力のもと、引き続き「文京区調べる学習コンクール」を開催し、多くの児童・生徒の参加を促す。 ○ 団体貸出を利用していない学校に対しては積極的に情報提供を行い、活用を促していく。 ○ ニーズにあった調べ学習用資料を充実させ、児童・生徒が目的の本を探せるように配架工夫をしていく。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、タブレットとも併用しながら学校図書館や団体貸出を利用する。活用を使用していない他学年に広げる。また、タブレットでの情報収集がたやすくなったため、本による情報収集が少なくならないよう留意する。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が興味関心を抱くような辞典や調べ学習用図書を充実させていくとともに、区立図書館の団体貸出し等も利用し、電子媒体と紙媒体を併用して活用していく。 		

	事業名 学校図書館への人的支援による機能の充実	所管課	真砂中央図書館 教育指導課 小・中学校
--	--------------------------------	------------	---------------------------

20	内容	学校図書館へ支援員を派遣し、学校図書館の読書センター・学習センター・情報センターとしての機能を充実させ、活性化を図る。
	現況	27年度から全区立小中学校へ支援員の派遣を開始した。 学校図書館での貸出数 283,793冊（令和元年度）
	目標	学校図書館ガイドラインに沿った運営を目指し、学校図書館の環境整備と児童・生徒への読書への意欲を高める工夫をし、利用促進を図る。また、今後の学校教育の状況に応じて、支援員の在り方等を検討する。
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）	
	実績	<p>【真砂中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書館支援員の派遣 1日4時間/週4日（全小中学校） ○ 学校図書館での貸出数 352,435冊 ○ 学校図書館支援員との連絡会を年3回開催。教育委員会関係課（学務課、教育指導課）も参加し、意見交換を行った。 ○ 小学校図書館担当教諭と小学校図書館支援員、区立図書館担当者との連絡会を年1回、地域別に開催した。 ○ 真砂中央図書館が小中学校の学校図書館訪問し、学校図書館支援員に支援内容について助言した。 <p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読書環境の整備等のために、学校図書館ボランティアを小学校に配置している。 ○ 実績：小学校20校中12校に配置 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 配置された学校図書館支援員による学校図書館の整備、ブックトーク、調べ学習の支援等 全校 ○ 教職員と学校図書館支援員の協働による学校図書館ガイドラインに沿った運営 17校 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 配置された学校図書館支援員による学校図書館の整備、ブックトーク、調べ学習の支援等 全校 ○ 教職員と学校図書館支援員の協働による学校図書館ガイドラインに沿った運営 8校
	成果と課題	<p>【真砂中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書館支援員の派遣により、児童・生徒への読書支援・学習支援を実施した。 ○ 真砂中央図書館からの小・中学校の学校図書館訪問により、各学校の状況を把握し、学校及び学校図書館支援員に対し課題の解決に向けての助言や支援を行うことができた。 ○ 小学校の学校図書館担当教諭と区立図書館担当者との連絡会については全体では開催せず、地域別のみで開催となった。 <p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が学校図書館ボランティアと連携し、館内装飾や請求記号の管理などの図書室環境整備を行った。 ○ 実績のない学校へのボランティア職員の紹介 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書館支援員による図書整備、学校図書館オリエンテーリングやブックトークなど、図書に関わる支援・助言が適切に行われ、専門的な知識等により、学校図書を効果的に活用した学習ができている。図書担当教員と連携して行うことができた。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書館支援員による学校図書館の整備や読書支援が行われていることはもちろん、担当教員と連携して充実した活動や図書館運営を行っている。一方で、教職員が様々な学校業務がある中で、支援員との協働によるガイドライン作成にかかる時間確保が課題である学校もある。
	今後の取組	<p>【真砂中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、児童・生徒への読書への意欲を高める工夫ができるよう、学校図書館支援員同士の情報交換の場を設け、必要に応じて助言を行う。また、教室増対策やタブレット端末の活用等、学校教育の状況を把握し、今後の学校図書館支援員の業務内容について、関係各課と課題の整理を行う。 <p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 派遣を希望する学校に対応するために、引き続き予算措置をする。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、連携しながら支援員を活用を進めていく。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、教職員と学校図書館支援員とが連携ながら充実した図書館運営を行っていく。

事業名	学校図書館の活用と資料の充実	所管課	学務課
内容	計画的に廃棄や購入を行い、魅力ある本や調べ学習に必要な資料の充実を図り、生徒の学習支援、読書支援を行う。		
現況	学校図書館図書標準充足率（令和2年度）100% 小学校13校、中学校7校 90～99% 小学校7校、中学校1校		

21	目 標	学校図書館図書標準充足率を100%とするとともに、学校図書館の読書センター、学習・情報センターとしての機能を発揮できる蔵書構成を備える。 新学習指導要領に対応した資料を揃えるとともに、データベースの活用、公共図書館との連携を図る。 感染症対策の観点から十分な複本を揃える。 読書バリアフリー法に対応するため、アクセシブルな資料の導入や読書補助具等の整備を行う。
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）	
	実 績	○ 充足している学校 小学校13校、中学校9校 ○ 90～99% 小学校7校 ○ 80～89% 中学校1校
	成果と課題	○ 中学校における学校図書館図書標準充足率100%達成学校数が増加した。 ○ 小学校における学級数の増加により充足率の低下がみられる。
	今後の取組	○ 計画的な図書購入を促進し、整備していく。

22	事業名	高等学校図書館との連携・支援体制の構築	所管課	真砂中央図書館
	内 容	高等学校図書館の資料の充実を図り、生徒の学習支援、読書支援を行う。		
	現 況	ボランティアや実習の受入れを行っている。学校図書館司書からの相談に応じている。		
	目 標	高等学校図書館等へ計画の周知・啓発を図り、図書館との連携について協議する。		
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）			
	実 績	○ 高等学校からの団体貸出の問合せはあったが、新型コロナウイルス感染症対策のため対応に至らず、今後の高等学校図書館への支援について、検討した。		
	成果と課題	○ 新型コロナウイルス感染症拡大により、高等学校図書館等と連携した新たなサービスの検討及び開始ができなかったため、学校に対し、本計画の周知を図り、ニーズを調査することから始める必要がある。		
今後の取組	○ 区内の高等学校に対して子ども読書活動推進計画の周知を図るとともに、地域の図書館に期待するサービス等についてアンケート等を行う。また、連携したサービスの検討について、過去に実績があった職場奉仕活動等を参考にする。			

目標3 子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発

すべての子どもたちが読書に親しめるよう、図書館の利用促進を図るとともに、子どもの読書活動に関する理解と関心が深まるよう、SNS等を活用するなど、保護者への積極的な働きかけを行います。

事業名	保護者等への啓発	所管課	真砂中央図書館 幼稚園・小・中学校 児童青少年課・保育園・児童館
内容	子どもの好む本や読んでほしい本を紹介し、また、講演会等を行い、読書や読み聞かせの大切さを伝える。		
現況	学校や幼稚園、保育園、図書館等、各々がお便りなどの発行、ボランティアによる読み聞かせ、講演会等による啓発を行っている。		
目標	読書の大切さなどについて、より多くの保護者に情報が届くように、SNS等を活用した情報発信を行う。また、講座等の実施や日常的な相談業務に取り組む。計画を通じて、子どもの読書や図書館利用に対する理解が深まるよう努める。		
● 進捗状況（令和3年度の取組等）			
実績	<p>【真砂中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ こども読書週間に各館で子どもと読書に関する本を特集した。 ○ 子育てメールマガジンを活用し、保護者に向けて発達段階に応じた読書や読み聞かせの大切さについてのメッセージを発信するとともに、図書館サービスの案内を行った。 ○ おはなし会で紹介した本などを特集展示で紹介した。(真砂中央、本郷) ○ 図書館広報誌で絵本作家の紹介、季節の絵本紹介、YA向けのおすすめの本の記事を掲載した。(根津) ○ 絵本作家が作品への思いを語る映像を作成し、「文京区民チャンネル」に公開した。(小石川) <p>【幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 園だより等を通じて啓発、本の紹介 6園 ○ 保護者による読み聞かせ・お話会の実施 4園 ○ 保護者会での情報提供や意識啓発 6園 ○ 日々の保育室への読書関係の掲示 5園 ○ 図書館の利用案内、ポスター・チラシ等の配布、掲示による公共図書館の利用推進 11園 ○ 保護者の読み聞かせボランティアの実績や感想を記した手紙の発行 1園 <p>【保育園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 園便り・クラス便りの活用 全園 ○ 保育室・廊下・絵本コーナーへの掲示 11園 <p>【児童館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館の行事案内の掲示等 全館 ○ 保護者による読み聞かせ 2館/16館 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校だより等で意識啓発 16校 ○ 朝読書などボランティアを通じた活動 12校 ○ 読書に関する保護者向け講演会・講座等の実施 2校 ○ 保護者会での情報提供や意識啓発 6校 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校だより等で意識啓発 5校 ○ 保護者会での情報提供や意識啓発 2校 		
23			

	成果と課題	<p>【真砂中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染拡大防止により、講演会等は行うことができなかった。 ○ 図書館に来館した保護者には、読書や読み聞かせの大切さを伝えられた。 <p>【幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 区立図書館の利用案内・ポスター、チラシの掲示・配布や、園だよりや長期休暇前のお便りでおすすめ絵本の紹介をするなど、保護者への啓発を行った。希望者に出版社の月次絵本の年間購読の仲介をした。保護者による読み聞かせの場を設けることで保護者自身が読書の楽しさを感じることも啓発につながっている。 <p>【保育園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 園だよりやクラスだよりで、子ども達に人気のある絵本を紹介したり、保育の中での絵本紙芝居等に触れる様子を掲示などで保護者に伝えた。 <p>【児童館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全館で図書館の行事案内の掲示等を行った。 ○ 保護者による読み聞かせの機会を増やす。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ほとんどの学校で学校ホームページ、学校だよりや図書館だより、保護者会を活用して保護者への情報提供や意識啓発を行った。感染症対策により、保護者対象の講演会などは感染の面から開催は難しく、保護者と関わる機会が少なかった。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 半数の学校では家庭に配布する学校だよりや図書だよりのなかで保護者への情報提供・啓発を行っているが、生徒中心の啓発となり保護者に向けてできていない学校もある。
	今後の取組	<p>【真砂中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ より多くの保護者に情報が届くように、SNS等をはじめ効果的な情報発信等を検討し、活用する。 ○ 図書館内外での保護者からの日常的な相談業務に取組みながら、インターネットを活用したオンデマンド型式も含めて保護者向けの講座等を検討していく。 <p>【幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、園だよりや保護者会等で保護者に定期的に本の紹介等をするなどの啓発活動を行う。保護者の読み聞かせの回数を増やし、その様子や保護者の感想等を配布物や掲示で知らせていく。 <p>【保育園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、お便りや掲示などで絵本に触れる楽しさを伝えていく。 <p>【児童館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新しく購入した本、おすすめの本などの紹介を続けるとともに幼児活動等での保護者による読み聞かせの実施回数を増やす。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、保護者会やお便り等で情報発信を行う。また、感染対策をしながら保護者ボランティアの読み聞かせ、講演会等を再開していく。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校ホームページの活用や、学校だより、学年だより、保護者会等を利用し、保護者への情報提供や意識啓発をする。

24	事業名	子どもへの啓発	所管課	真砂中央図書館	
	内容	読書の楽しさや大切さを子どもたちに伝えるため、子どもと本に関わる人々がそれぞれの取組を充実させるとともに、連携を図る。			
	現況	関連部署や団体との連携を図り、子どもたちが本にふれる機会を増やし、イベントなどに取組んでいる。			
	目標	子どもたちの身近な場所に本があり、いつでも気軽に本を読める環境をつくとともに、イベントや展示などを通じて、読書への関心を高める。			
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）				
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 区内児童書出版社と連携し、児童書の原画展示やパネル展示を行った。 ○ 文京区青少年プラザ(b-ラボ)との連携行事を行った。 			
	成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校低学年以下向けの行事は参加が多く、本の貸出にもつながっている。また、出版社や文京区青少年プラザ(b-ラボ)との連携により、新しい展示・特集を展開することができた。今後も協力先を増やすなど、連携の幅を広げることが課題となる。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、出版社や文京区青少年プラザ(b-ラボ)との連携のもと、魅力あるイベントの開催を行う。また、子どもの身近な場所に本があり気軽に読書を楽しめる環境づくりに努め、多世代の読書への関心を高める。 				

	事業名	プレママ・プレパパへの啓発	所管課	真砂中央図書館
	内容	これからママ、パパになる方に向け、読み聞かせやわらべ歌などを通して、子どもとともに楽しむ読書の大切さを伝える。		

25	現況	母子手帳交付時の「母と子の保健バッグ」に啓発チラシを同封している。プレママ・プレパパも参加する行事で読書の大切さを伝えている。
	目標	SNSの活用など周知を強化し、気軽に参加してもらえるよう工夫し、内容の充実を図る。
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）	
	実績	○ 母子手帳を交付時に渡している「母と子の保健バッグ」に「プレママ・プレパパのみなさんへ」のチラシを封入して配付し、ブックスタート事業や各館でのプレママ・プレパパから参加できる行事について紹介。 ○ プレママ・プレパパも参加できる児童行事を毎月開催しているが、新型コロナウイルスの影響で中止した月もあった。
	成果と課題	○ コロナ禍の行事の開催では、プレママの・プレパパの参加は難しく、実績はほとんどない。
今後の取組	○ 図書館行事を知ってもらうために、定例行事にプレパパ・プレママが参加できることを積極的に案内していく。引き続き、母子手帳交付時の図書館案内のチラシ封入を続ける。また、プレママ・プレパパの皆さんに子どもとともに楽しむ読書の大切さについて関心をもってもらい、図書館をより身近なものにしてもらえるよう、メールマガジン等によるPRや気軽に行事等に参加してもらえる工夫を行う。	

26	事業名	文京区の子ども読書活動に関する情報窓口（ホームページ）の充実	所管課	真砂中央図書館
	内容	図書館ホームページ内の「子ども読書支援ページ（こどもの本に関わる方へ）」の充実を図り、情報発信の拠点とする。		
	現況	子どものホームページ内に図書館行事や講座案内、夏休みの小学生向けおすすめリスト情報、子ども読書活動推進計画の進捗状況調査結果等を掲載している。		
	目標	情報窓口のさらなる充実を図り、子どもと本に関わる人たちに広く読書活動の周知を図る。		
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）			
	実績	○ ホームページ内に各図書館の特集ページの掲載を始め、各館の展示特集について情報を発信した。 ○ 子ども読書活動推進計画の検討結果、及び新たに策定した第三次計画を公表した。		
	成果と課題	○ ホームページのリニューアルを機に、図書館行事や特集ページの紹介を随時更新することにより、ホームページからの行事参加申込者が増加した。一方で、子ども読書支援ページのボランティア紹介の部分について、最新情報の更新等、内容の充実が必要である。		
今後の取組	○ 引き続き、図書館情報を常に更新し、子どもと子ども読書活動に関わる人に対する情報発信源として、内容の充実を図る。加えて、より多くの人にホームページを見てもらえるように、配布する印刷物の中にQRコードを入れる。また、子ども読書支援ページのボランティア紹介ページを更新する。			

27	事業名	子どもの居場所としての図書館の利用推進	所管課	真砂中央図書館
	内容	様々な事情を抱える子どもたちに対し、きめ細かに図書館サービスを周知することで、家庭や学校以外に安心して居られる場所となるよう図書館の利用促進を図り、子どもたちの読書活動を推進する。		
	現況	様々な事情を抱える子どもなど、すべての子どもたちにとって、図書館が家庭や学校以外の居場所として利用できる。		
	目標	地域に開かれた身近な施設である図書館が、子どもたちの居場所として活用されるよう、様々な事業との連携を図りながら、図書館サービスを周知する。		
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）			
	実績	○ 子ども用閲覧席を設け、読書や調べもの学習に集中できる環境を整えている。 ○ 館内に滞在する子どもに対しては、行事参加を促すなどの声かけを行い、目を配っている。		
	成果と課題	○ 就学援助認定結果通知書送付時に図書館案内を同封した。 ○ 誰でも利用できる施設として、休日や放課後等に子どもたちが図書館を利用し過している。職員が常駐・見回りをすることにより、子どもが安心して図書館を利用している。なお、ひとりで滞在する子どもに対し、常に職員の目が届くよう配慮し、丁寧な声掛けと定期巡回を行っている。		
今後の取組	○ 引き続き、子ども達が安心して過ごせる場所となるよう、図書館サービスを周知する。			

事業名	子ども向けホームページの充実	所管課	真砂中央図書館
-----	----------------	-----	---------

28	内容	読書へのきっかけ作りのために図書館ホームページの「こどもページ」「YAページ」を充実させる。
	現況	おすすめ本のリストや子ども向け行事案内を掲載している。
	目標	ホームページの機能を活用し、さらなる情報発信を積極的に行う。
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）	
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども向けページには、おすすめ本のリスト、特集展示などのお知らせを掲載した。 ○ YAページには、おすすめリスト、新刊や人気のある本の情報更新や各図書館のYAコーナーのお知らせを掲載した。 ○ 各図書館で開催される事前申込み行事については、ホームページの受付申込みフォームを活用した。
	成果と課題	○ ホームページのリニューアルを機に、各図書館の特長を生かした展示特集や、行事の案内をこまめに更新し、ホームページの充実に取り組んだ。またこれにより、ホームページからの行事参加申込ができるようになり、利便性が向上した。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、図書館の魅力を伝えるホームページとなるようページを随時更新し、来館での利用のほか、電子書籍の利用などを増やしていく。 ○ また、掲示物や配布する印刷物の中にQRコードを入れる等、子ども達がより一層ホームページにアクセスしやすい環境を整える。 	

29	事業名	「文京区子ども読書活動推進計画」実施のための進行管理	所管課	真砂中央図書館
	内容	計画推進のためのセンター機能を真砂中央図書館に置き、計画の進捗状況を管理する。		
	現況	「文京区子ども読書活動推進計画」の進捗状況について調査し、ホームページに掲載している。		
	目標	関係者による連絡会等を通して計画の進行を管理し、本計画の効果的な推進に努める。		
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）			
	実績	○ 「文京区子ども読書活動推進計画」の進捗状況について調査を行い、翌年度の取り組みにつなげる。		
	成果と課題	○ 実績の洗い出しに加え、成果と課題を個々に考察し、今後の取組を明確に示す実績状況調査票に改めた。		
	今後の取組	○ 成果と課題を踏まえ関係各所が課題改善に取り組み、所管課が進捗状況を管理する。		

目標4 地域団体等との協働による子どもの読書活動の活性化

子どもの読書活動に関わる地域の個人・団体、大学等との協働による取組を推進します。また、図書館及び学校図書館職員の研修の充実により、資質の向上と図書館の活性化を図ります。

30	事業名	職員・教員の研修の充実	所管課	真砂中央図書館 教育指導課 小・中学校
	内容	子どもの読書活動推進に関わる研修等を実施する。		
	現況	区立幼・小・中学校教育研究会を実施している。		
	目標	教職員と学校図書館支援員が協働して学校図書館運営にあたり、学校図書館の活用を図ることができるよう各種研修等を通して、職員・教員の資質向上を図る。		
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）			
	実績	<p>【真砂中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 区立中学校教育研究会の学校図書館研究部の会議に真砂中央図書館も出席し、区立中学校に対する支援について説明した。（年1回） ○ 「東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ」における小学校中堅教諭の図書館実習を真砂中央図書館で受け入れた。（3人） <p>【教育指導課・小学校・中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報共有や校内研修等の実施による研鑽（小学校8校・中学校1校） ○ 外部の研修や講演会等に参加（小学校9校・中学校1校） 		
	成果と課題	<p>【真砂中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 区立中学校の教員等で構成される学校図書館研究部からの講師派遣要請に応じ、真砂中央図書館が研究部の会議に参加し、中学校に対する図書館サービスの説明を行った。これにより、区立図書館による学校図書館支援事業について教員の理解が深められた。 ○ また、小学校中堅教諭の研修を区立図書館で受け入れるなど、職員・教員の研修支援をすることができた。 <p>【教育指導課・小学校・中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校においては、図書研究部や講習会に参加し、資質向上を図っている。研修を通して、学校図書館の活用の仕方を学ぶことができた。ただし、研修で得た情報を校内で共有することが課題の学校はあった。研修の機会がなかった学校もあったが、図書担当教員を中心に情報発信・情報共有を行った。 ○ また、学校図書館部の学校組織としての位置付けが曖昧で、教職員も学校図書の年間指導事項について理解が十分でないという学校もあった。 ○ 区立中学校教育研究会の図書館部で研修を行う以外、子供の読書活動に関する校内研修等を行っていない。学校全体の研修計画のスケジュールがタイトであり、校内研修で取り組むべき課題が山積しているため、他の研修を入れることが難しく、学校図書室活用のための研修時間の確保は課題である。 		
	今後の取組	<p>【真砂中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も教職員の研修を受け入れ、区立中学校学校図書館研究部の講師派遣要請を受けるなど、教職員の研修支援を行う。 <p>【教育指導課・小学校・中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校においては、引き続き、研修に参加して教職員の資質向上を図りながら、学んだ内容を校内へのフィードバックし情報共有を行う。また、学校図書館支援員との連携による活用を調整する。 ○ 区立中学校教育研究会の図書館部での研修内容を参加者は各校で共有し、また外部の研修や講演会等を周知して教員の研修に参加する時間を確保する。機会や要望があれば校内研修会についても実施する。 		

31	事業名	図書館職員の研修の充実	所管課	真砂中央図書館
	内容	子どもの読書活動推進に関わる研修等に参加する。		
	現況	司書講習や、都立図書館等で実施している研修に参加している。各自が情報収集や講習会に参加するなど、自己啓発に努めている。		
	目標	各種研修等を通して図書館職員の資質向上を図る。		
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）			

実績	○ 真砂中央図書館においては、館内研修及び都立多摩図書館が主催する研修等に参加した。 ○ 指定管理者においては、館内研修、会社内研修をe-ラーニングも含めて実施したほか、国際子ども図書館児童文学連続講座、全国公共図書館研究集会、紙芝居オンラインミニ講座、出版社によるWEBセミナーに参加した。
成果と課題	○ 館外研修参加者が受講した研修内容について区立図書館内へフィードバックし、職員間で情報を共有することにより、全体の資質向上につながった。
今後の取組	○ 今後も館内外の研修に積極的に参加し、職員全体の資質向上に努める。

事業名	区内の大学等との連携の推進	所管課	真砂中央図書館
内容	区内にある大学、専門学校等と連携、協力し、子どもの読書活動推進を図る事業を実施する。		
現況	大学生のボランティアグループによる児童行事を実施している。		
目標	児童だけではなくYA世代に向けて、大学生と協働で本を紹介する等、より多くの大学と連携し、新たな事業展開を図る。		
● 進捗状況（令和3年度の取組等）			
32 実績	○ 日本女子大学の学生が「児童文学研究会ひなぎく」として月に1回児童行事「ひなぎくおはなし会」のボランティア活動を行った。（目白台） ○ 東洋大学学生ボランティアIVUSA（イビューサ）によるこども行事（ペープサートによるうごくえほんのじかん）、お茶の水女子大学・児童文化研究会いのみによる折り紙のモビールの展示を実施した。（千石）		
成果と課題	○ 感染対策をしながら、大学生のボランティアグループによる児童行事や装飾等を行ったが、ボランティアの協力については、一部の図書館に限られている。		
今後の取組	○ 大学生のボランティアグループによる連携を図書館全体に拡大するにあたり、大学生ボランティアの登録者数を増やすため、地域の大学等へ協力を依頼し、募集活動に力を入れる。また、YA世代に向けたイベント等の新たな事業展開を検討する。 ○ また、専門機関としての大学からの支援・協力により、子どもの読書活動推進につながる事業を新たに検討する。		

事業名	区内にある児童図書出版社や書店との連携の推進	所管課	真砂中央図書館
内容	区内にある児童図書出版社や書店と連携し講演会等を実施する。		
現況	区内の児童図書出版社と共催し、絵本原画展や作家の講演会等を行っている。。		
目標	出版社や書店等と連携して、講演会や原画展以外にも魅力的な事業を実施し、読書活動の推進に努める。		
● 進捗状況（令和3年度の取組等）			
33 実績	○ 区内児童図書出版社こぐま社の協力のもと、リニューアルする図書館利用カードのデザインに人気絵本『11ぴきのねことあほうどり』の絵を採用した。 ○ フレーベル館主催「おやこでよう！金子みすゞ」絵本原画展（小石川、本駒込、目白台、湯島、大塚） ○ JULA出版局絵本原画の展示（大塚） ○ 絵本作家インタビュー映像上映実施（小石川） ○ 岩崎書店主催「よみきかせいぎものしゃしんえほん」パネル展の開催（目白台）		
成果と課題	○ 小石川図書館で開催した絵本原画展は詩を親しむきっかけとなり、本の貸出にも繋がった。 ○ 目白台図書館で開催したパネル展は親子での閲覧が多く、本の貸出にも繋がった。 ○ 新型コロナウイルスの感染拡大防止により、出版社による参集型の講演会は開催できなかったため、今後はオンラインやオンデマンド方式等による開催方法も検討する必要がある。		
今後の取組	○ 出版社だけでなく書店等との連携も検討し、読書活動の推進に努める。イベント等の開催方法についても検討する。		

事業名	区関係機関との協力・連携体制の推進	所管課	真砂中央図書館
内容	区の関係機関と情報交換を行い相互の連携による事業を行うなど、図書館内外での子どもの読書活動推進に努める。		
現況	子育て支援課主催の「子育てフェスティバル」に参加するなど区の関係機関と連携している。		

34	目 標	教育委員会、子ども家庭部、保健衛生部、福祉部、社会福祉協議会等、乳幼児から高校生にかかわる機関との連携をより密にして、読書活動の推進を図る。
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）	
	実 績	○ 生活衛生課の「ハッピーベジタブルフェスタ」に参加し、配布物を作成した。同時期に図書館内でも野菜に関する特集を行い広く展開した。 ※ その他は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各事業が縮小または中止となった事業もあった。
	成果と課題	○ 新型コロナウイルスの感染拡大防止による制限はあったものの、関係機関からの要請に対しては全て協力した。
今後の取組	○ 関係機関の事業に協力し、子どもの読書活動の推進に努めるとともに、図書館事業のPR強化も図る。	

35	事業名	図書館ボランティア（ライブラリーパートナー）の育成と連携	所管課	真砂中央図書館	
	内 容	子どもの読書活動推進のために図書館ボランティアを育成し、活動の場を提供する。			
	現 況	図書館ボランティア研修を実施している			
	目 標	計画的に研修等を通して人材を育成し、活動の場を提供することで協働して図書館事業に取り組む。			
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）				
	実 績	○ 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、児童行事等では図書館ボランティアの活動そのものに制限があった。 ○ 児童行事が行えない場合も自宅での制作物作成等による活動をしてもらった。 ○ 図書館ボランティアに活動の場を提供し、おはなし会、布の絵本をつくる会を実施した。（小石川） ○ 図書館ボランティアの学生向けに「読み聞かせ講座」を実施した。（目白台）			
成果と課題	○ 図書館ボランティアの活動の場を提供し、ボランティアと協働により図書館事業に取り組んだことで、行事が形骸化せずに子ども達が楽しむことが出来た。 ○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、毎年行っている図書館ボランティアのための研修を行うことが出来なかった。				
今後の取組	○ 研修については、着実に行えるように実施方法を工夫する。また、活動の場を提供することにより、図書館ボランティアの更なるスキルアップを図り、人材育成に努める。 ○ 図書館ボランティアの活躍の機会については、行事以外の場も検討する。				

36	事業名	学校図書館のボランティアへの支援	所管課	真砂中央図書館	
	内 容	学校図書館のボランティア向けの研修等を実施する。			
	現 況	小学校図書館のボランティア向けに研修を実施している。			
	目 標	研修等を通してボランティアの資質向上を図る。			
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）				
	実 績	○ 例年真砂中央図書館で行なっている「小学校での読み聞かせボランティア養成講座」は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため実施しなかった。 ○ 各学校でのボランティア活動にも制限が生じたが、工夫して活動するボランティアに対しては図書館で支援した。			
成果と課題	○ 感染拡大により、学校でのボランティア活動に制限が生じ、各学校の状況に合わせた活動の工夫が求められた。 ○ 図書館では、学校で活動する読み聞かせボランティアからの相談に対して、遠くからでも見えやすい本を紹介するなど、個々に対応した。				
今後の取組	○ 学校図書館ボランティア向けに研修等を実施し、読み聞かせの本の選び方や、読み聞かせの方法などの技術向上を支援する。 ○ 感染対策を講じながら研修会の実施方法を工夫する。				

	事業名	地域社会における読書活動を推進する団体等との連携の推進	所管課	真砂中央図書館 社会福祉協議会
	内 容	子どもの読書活動に関わる地域や民間の関係団体の活動を支援し、連携を深め、情報交換や人的交流を促進する。		
	現 況	ボランティア団体やふれあいいきいきサロンの活動のPRや団体向けに読み聞かせの講座等を行い、読み聞かせの活動を支援している。		

37	目 標	地域社会で子どもの読書活動推進に関わる人材や団体を支援し、図書館との連携を図る。
	● 進捗状況（令和3年度の取組等）	
	実 績	<p>【真砂中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文京区お届け講座に基づく依頼により、読み聞かせボランティアをしている社会教育団体1団体30人に対し、Zoomによる読み聞かせ講座を行った。(真砂中央) ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため例年参加していた「湯島青少年健全育成会」イベントは中止。(湯島) <p>【社会福祉協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティア団体への研修助成や、ふれあいききサロンの活動団体への活動費支給が、読み聞かせ活動をしている団体に対する間接的な支援になっている。
	成果と課題	<p>【真砂中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オンラインで講座を行うことができ、好評だった。 ○ 地域で活動してる団体を把握することが難しいのが課題である。 <p>【社会福祉協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修及び活動はほとんど行われなかった。
今後の取組	<p>【真砂中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン・オフラインと臨機応変に読み聞かせ講座を行い、活動を支援する。また、地域で活動するボランティア団体等の実態等を把握するため、ボランティアセンターとの連携を検討する。 <p>【社会福祉協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も、読み聞かせを行っている団体の研修助成やふれあいききサロンの活動費支給は行っていく。 	